

# みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2014/01/05

Vol.49

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com

<http://www.mmirai.com> (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

## 平成 25 年 第 4 回 印西市議会定例会報告 (2)

### ～ 北総鉄道への補助金支出中止へ。市民の声は届いているのか？

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。今回の紙面では昨年末に新聞や一部ニュースでとりあげられた「北総鉄道の運賃問題」を中心に記載します。

#### 北総鉄道の補助金、白井市・印西市打ち切り報道について

12/26 (木) に、板倉市長は、伊澤白井市長とともに、北総鉄道、千葉県を訪問し、白井市役所で記者会見を開き、運賃を値下げするために負担してきた補助金の支出を平成 27 年度以降、打ち切ると発表しました。これは、印西市議多数の意見を無視して、補助金の取りやめ（現行スキームの破棄）を選択したということになります。このような手法をとって、本当に運賃値下げは実現するのでしょうか？ 以下に市議の賛成多数（賛成 15／反対 5）で可決した決議文の全文を記載します。

#### 「北総線運賃の更なる値下げのための関係者間の合意形成を求める決議」

北総線の運賃は、平成 21 年 11 月 30 日の関係者間の合意により、平成 22 年 7 月 17 日から平均 4.6%の値下げが実現している。

この運賃値下げは千葉県・沿線 6 市・鉄道事業者の財政支援により成立し、北総線利用者の負担は軽減されている。また、印西市の財政負担も軽減することとなっており、さらには印西市が以前に実施していた通学定期に係る単独補助と比較して、住所証明が不要となったことや年齢制限が撤廃されたことなど利用者の利便性の向上にも繋がっている。

このように、平成 21 年の関係者間の合意による運賃値下げは特に通学定期利用者にとって一定の成果をもたらしており、平成 27 年度以降についても更なる運賃値下げに向けた関係者間による積極的な取り組みが期待されるところである。

加えて、北総鉄道株式会社の経営状況や財務状況は北総鉄道の経営努力により平成 21 年の合意時と比較して改善されていることは明らかであり、更なる運賃値下げのため関係者間の合意形成に向けた努力をすべきである。

万が一にも、関係者間の合意形成の協議が行われないうちに、現行の運賃値下げのためのスキームが破綻し、「北総線の運賃値上げ」という結果になることは断じてあってはならない。

よって、印西市議会は、北総線を利用する市民の利益を最優先に考え、印西市が主導的立場を担い、平成 27 年度以降も現行の運賃値下げのためのスキームを維持し、北総線運賃の更なる値下げのための関係者間の合意形成を求めるものである。以上、決議する。【提出者 海老原作一（新政）】

平成 25 年 12 月 18 日 印西市議会

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

この発議案に対して、「違法の可能性が高い補助金支出以外の手段を検討しなければならない。」という考え方で、対抗する決議案が提出されましたが、5：15 で否決されました。

今回の決議案ですが、表題の通り、「北総線運賃の更なる値下げのための関係者間の合意形成を求める」というものです。 更なる値下げをするためには、どうすればいいのか。

何よりも現行の運賃体系を維持しなければならず、その上での交渉となるはずですが。北総鉄道からは現行のスキームが維持できなければ、運賃をもとに戻すと連絡があり、一旦もとの運賃体系に戻ったら、どうやって（現行の運賃以下の）更なる値下げができるのでしょうか？

## ☆ 市民生活にどのような影響が出ると想定されるのか？

今回のスキームが壊れることで、市民にとってのメリットは？

= メリットは思いつきませんが、デメリットは考えられます。

### ○ 市民負担はどうか？ 8100万から1億3300万円に増えます。

(現在は、6市で負担している北総鉄道への補助金ですが、仮に利用者に対して直接補助を行った場合を想定。=この金額は旧印西市、旧本埜村、旧印旛村で北総鉄道の利用者に対して行っていた補助金を足し合わせたものですが、1億3300万円拠出したとしても救われない方々があります。小中学生、22歳以上の学生、市外から電大や印旛明誠に通う子供たちは救えません。また、この金額は年齢制限や居住地制限があった際のもので、列記した方々も含めて拠出するとすれば、1億5000万円を超えることは十分に想定できます。)

また、手続きが煩雑になることが想定されます。

(従前のように住所証明をもらい、立替払いをしてもらうのでしょうか。現行のスキームが崩れることを考えれば、現行の通学定期代から33%アップと消費税値上分を各家庭に立替えてもらうのでしょうか？(立て替えて、銀行振込が想定されます。)) さらに、言えば北総鉄道の運賃は高いので、1ヶ月単位で購入すると、毎月このような作業を市民に、市職員に強いるのでしょうか？市職員の人件費も考えれば、市民にとっての負担は2倍ではすまないものと想定されます。)

## ☆ 北総鉄道は儲かっているから、補助金を出すべきではない？

誰に対しての補助金でしょうか？私は北総鉄道への補助金ではなくて、間接的な市民への補助金だと考えています。そもそも、北総鉄道の経営支援になっているのでしょうか。(北総鉄道も運賃値下げのために3億円の補助金を拠出しています。)

別の切り口から申し上げても、儲かっているという表現に関しては、注目すべき記載が北総線運賃問題に関する報告書にはあります。

平成22年度鉄道統計年報のデータを元にした調査報告書の記述によれば、北総鉄道の職員一人当たりの人件費は京成グループよりも低く、営業キロ当たりの職員数、一駅あたりの駅職員数は東葉高速、埼玉高速、京成グループの中でもっとも少なく、運転手一人当たりの年間走行距離は他社の2倍以上、車両あたりの年間輸送量は他社より高くなっている。(本当に儲かっているのなら、すべて最低水準ということはないのでしょうか。さらに言えば、儲かっていたら、一般の企業であれば、株主に配当を出すのではないのでしょうか？)

市民の皆様に対して、一度「北総鉄道の運賃問題」について、今までの動き、そして今後について、年明けに日時を設定して、議会報告を私の所属する、会派「新政」(板橋睦、海老原作一、ぐんじ)で行ないたいと思います。(1/26土曜日午後を予定/詳細は、改めてお知らせいたします。)

## **牧の原駅北側の開発と郵便局の誘致について (12/12(木) 議会答弁より)**

\* 駅北側の旧ビッグルフ跡地の土地処分状況はどうなっているのか。また、郵便局の設置を同地に求める声を聞くが、市当局としては郵便局の設置について、現状はどのような状況か？

【回答/環境経済部長】ビッグルフについては、既に、施設は解体され、現在、画地内の整地工事が進められている状況であり、土地の処分状況については、都市再生機構から新たな事業者が決定したとの報告はありません。

次に、郵便局の設置については、日本郵便株式会社から開局が、決定したとの報告はありませんが、現在も引き続き、出店に向けて、条件整理や検討作業を行っている状況とのごとくでございます。

郵便局の出店場所等でございますが、現在、郵便局が行っている出店に向けた条件整理や検討作業の中で決定されるものと認識しており、郵便局側から具体的な相談がありましたら、市としても可能な協力をしたいと考えているところで

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり